

モノたちの物語り

～ 展示資料を楽しむ ～

展示ケースのモノたちにはそれぞれに物語がある。
モノたちの言葉は展示という「大きな物語」の一部に仕立てられていく。

そんな展示資料を主役にし、
書簡、原稿、絵画等、モノたちの言葉と
ひとつひとつの物語を楽しむ。

秋の特別展 関連講座

◆学芸員が語る秋の特別展「モノたちの物語り」

- 日時／11月18日(土) 14:00～15:00
- 場所／当館講義室
- 定員／20名(要予約)
- 講師／井上勝博(当館学芸員)
- 持ち物／筆記用具

※観覧料のみで受講いただけます

つながる文学講座

《こどもと文学》

樋口一葉「たけくらべ」の世界

- 日時／10月1日(日)
- 講師／笹尾佳代氏(同志社大学准教授)

《旅と文学》金子光晴の世界漂流

- 日時／12月2日(土)
- 講師／大橋毅彦氏(関西学院大学教授)

《告白と文学》田山花袋「蒲団」を読み解く

- 日時／2024年2月18日(日)
- 講師／光石亜由美氏(奈良大学教授)

- 時間／14:00～
- 受講料／1,000円
- 場所／当館講義室 (観覧料込)
- ※詳しくはお問合せください(HPでもご案内しております)

庭園 プラス ロビー 展示

現代アートからの「谷崎礼讚」 — 岩野勝人・日下部一司 —

谷崎ゆかりの庭園とそれを眺めるロビーにて、現代アーティストが
谷崎の美意識にインスピレーションを得て自作の展示に挑みます。

- 日時／9月16日(土)～12月10日(日)
- ※開館時間・休館日・観覧料は秋の特別展と同じ

●岩野 勝人 IWANO Masahito



[huge foot]

●プロフィール

1961年徳島県生まれ。京都市立芸術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了。

近年の主な活動に、かめおか霧の芸術祭「2022城址芸術展」(丹波亀山城跡大本本部・京都)、「めぐりアート静岡2015」(静岡市美術館)、「Erosion/Transfiguration — 侵蝕と変容の先の関係性へ —」(瑞雲庵・京都)、「IWANO MASAHIKO 現代アートによる徳島再見」(徳島県立近代美術館)などがある。

●日下部 一司 KUSAKABE Kazushi



「そこにあった」

●プロフィール

1953年岐阜県生まれ。大阪芸術大学芸術学部美術学科版画専攻卒業。日常生活を通しての視点や対象となる物のあり方から、視覚的作用と認識の問題に触れる作品を制作してきた。版画や写真等、様々な媒体で発表を続けている。

近年の主な活動に個展では、美加茂市民ミュージアム(岐阜)や、Oギャラリーeyes(大阪)、参加展に「絵になる京都[モチーフとしての京都市美術館]」(京都市京セラ美術館)などがある。

- ゲスト・キュレーター：永草次郎(帝塚山学院大学教授)
- 協力：Ns ART PROJECT

関連イベント

◆トークイベント

(本展出品アーティスト)

(進行役)

岩野勝人×日下部一司×永草次郎

- 日時／11月26日(日) 14:00～15:00
- 場所／当館ロビー
- 定員／30名(要予約)

※観覧料のみでご参加いただけます

芦屋市谷崎潤一郎記念館

Tanizaki Junichiro Memorial Museum of Literature, Ashiya
〒659-0052 兵庫県芦屋市伊勢町12番15号 TEL.0797(23)5852 FAX.0797(38)3244
E-mail:ashiya-tanizakikan@shopro.co.jp ホームページ:https://www.tanizakikan.com



※上記内容は状況により変更となる場合がございます。最新情報は当館HPでご確認ください。